

荒川区花と緑の基本計画

花と緑を通して幸せを実感できるまち



平成21年3月

荒川区



花 つわぶき
詩画 星野富弘

はじめに

まばゆいばかりの満開の桜を見上げながら新たな出会いを予感し、心躍る春。夜露を宿し、鮮やかに咲く朝顔の花に魅せられて、さわやかな一日が始まる夏。金木犀の香りや金色のイチョウの葉に深まり行く秋を感じ、凍てつく透き通った空気を吸い込んで、木立の間を霜柱を踏みしめながら散策する冬。

このように、私たちは、意識せずとも花や緑に触れ、花や緑から季節の変化を感じ取り、日常を過ごしています。

花や緑は、私たちに多くの恩恵をもたらします。公園の緑、道路に並ぶ街路樹、庭先の草花や玄関前の鉢植え、花壇に咲く花など、すべての花と緑は、まちに彩りを添え、私たちを癒（いや）し、災害時には延焼防止に役立ち、また、二酸化炭素を吸収し、地球温暖化やヒートアイランド対策としても大きな効果があります。

しかし、本区における花や緑の量は、23区の中でも少ない状況にあるため、あらゆる機会をとらえて少しずつでも増やしていく必要があります。そして、量的に増やすことに加え、すべての区民の皆様が、花や緑を育て、慈しむことに何らかの形でかわり、参加することが、心豊かで健やかな区民生活の実現に結びつくものと信じております。

このたび、策定いたしました「荒川区花と緑の基本計画」は、荒川区基本構想の将来像である「幸福実感都市 あらかわ」の実現に向け、花や緑を通して、幸せを感じることができるまちを築いていくための目標や具体的な施策を定めたものであります。

私は、区と区民の皆様とのパートナーシップにより、本計画に示しました施策を一歩ずつ確実に前進させ、花と緑あふれるまち「あらかわ」を目指してまいりたいと考えております。

結びに、本計画の策定に当たり、貴重な御意見、御提案をいただきました区民の皆様をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げます。



平成21年3月

荒川区長 西川 太 一 郎

- 目 次 -

第1章 計画の位置付け	1
計画の前提	2
1 荒川区花と緑の基本計画とは.....	2
2 荒川区花と緑の基本計画の位置付け.....	2
3 荒川区花と緑の基本計画の目的.....	3
4 計画のフレーム	3
5 用語の定義	4
計画の構成	5
1 計画の視点	5
2 計画の構成	6
第2章 みどりの現況と課題	7
自然的条件	8
1 自然の骨格	8
2 みどりの状況	12
3 接道部緑化の状況	37
社会的条件	42
1 区民意識と意向	42
2 土地利用	43
3 防災関連条件	45
4 市街地整備状況	48
人文的条件	49
1 歴史・文化的資源の分布状況.....	49
2 みどりに関する区民活動	50
3 みどりに関するイベント等.....	53
計画策定に向けての課題.....	54
第3章 計画の目標と基本方針	57
みどりの将来像	58
基本理念と基本方針.....	58
1 基本理念	58
2 基本方針	59
みどりと土のネットワークの形成	60
みどりの確保目標量.....	63
1 緑被率	63
2 区民一人当たりの公園面積.....	64
「花と緑を通して幸せを実感できるまち」をつくるために	65

第4章 施策別計画	67
施策の体系	68
個別施策の内容	70
《基本方針1：環境に資するみどりをまもりつくるための施策》	
1 公園・緑地等の整備・充実	70
2 みどりの保全	73
3 緑化の推進	75
4 面的なみどりの整備・緑化の推進	82
《基本方針2：花と緑の名所をつくり育てるための施策》	
1 全区レベルの花と緑の名所づくり	84
2 日常生活レベルの花と緑の名所づくり	89
3 花と緑の名所づくりの支援・普及	93
《基本方針3：花や緑とのふれあいの心を育てるための施策》	
1 花や緑とのふれあいの促進	94
2 取組の体制づくり	98
3 管理の充実	100
第5章 地域別方針	101
地域別方針の構成	102
1 地域区分	102
2 みどりにかかわる現況・課題の項目	103
3 地域別のみどりにかかわる方針	104
地域別方針	105
1 南千住東地域	106
2 南千住西地域	110
3 荒川地域	114
4 町屋地域	118
5 東尾久地域	122
6 西尾久地域	126
7 東日暮里地域	130
8 西日暮里地域	134
第6章 計画の実現に向けて	139
区、区民、事業者のパートナーとしての協働	140
推進計画の策定	140
進行管理	141
庁内の推進体制	141

資料編	143
計画策定の経緯	144
荒川区みどりの基本計画策定委員会	145
区民参加の記録	159
公園・児童遊園等一覧	165

《詩画について》

作者の星野富弘氏は、不慮の事故で手足の自由を失いましたが、口に筆をくわえて詩画を描くという新しい分野を独自に切り開きました。星野氏の作品は、多くの人々に生命の尊さを伝え、深い感動と生きる勇気を与えています。

この作品は、『花の詩画集 あなたの手のひら』に収められており、本計画のテーマである「花と緑を通して幸せを実感できるまち」にふさわしい作品として荒川区顧問である仙道作三氏の御紹介により掲載を承諾していただきました。

題材となっている“つわぶき”は、古くから日本にある植物です。つやのある美しい葉は、一年中観賞することができ、晩秋から初冬にかけて咲く鮮やかな黄色の花は、花の少ない季節に彩りを添えています。